

2007年12月から、2014年7月までの期間に京都市立病院で透析を行われた維持透析患者様へのお願い

慢性透析患者様の年間の死亡率は約10%で、約半数が心臓病や脳卒中であり、これら疾病に対する対策は腎臓内科医に課せられた最も重要な臨床的課題の一つです。高血圧は心臓病や脳卒中の最大の危険因子である事から、血圧のコントロールは重要で、血圧をコントロールするにはドライウエイト（透析後体重）の適正な達成が最も重要であるとされています。しかし、ドライウエイトの評価・設定方法についてはいまだ確立されておらず、施設が違えば設定値が数kgも違うような場合さえあります。適正なドライウエイトの設定には、まず患者様の水分の量を正しく評価する必要があります。そこで京都市立病院では上記期間に当院で透析を実施し、体液量を評価させていただきました患者様の検査データや血圧、透析中の経過などの情報を利用していただき、どのような方法を用いれば、患者様の水分の量が正しく評価でき、ドライウエイトが適切に設定できるかを明らかにしていきたいと考えています。これにより透析患者様の心臓病や脳卒中を少しでも減らしていきたいと考えています。

**方法：**集められたデータについては匿名化とって、患者様の個人名を消去し、代わりに番号を付けることによって、個人が同定できないようにして、統計処理を行います。また各患者様のデータはすべて電子カルテに記載のあるもののみを情報源といたしますので、新たに患者様に調査をお願いしたり、質問を行うような事は一切ありません。もちろん新たな検査も皆無であり、費用負担が発生する事はありません。この研究は姫路獨協大学医療保健学部の他3透析施設との共同で行います。姫路獨協大学にのみ匿名化した個人を同定できないデータを提供いたしますが、他の施設には提供する事はありませんので、個人情報に他に漏えいする可能性はありません。まとめられた結果については、透析療法にかかわる、学会や研究会、医学雑誌に公表されることがあります。

患者様には、本研究の趣旨をご理解いただき、ご自身の臨床データの本研究への組み込みをご承諾いただければ幸甚です。もし、ご自身の臨床データが、この統計解析に加えられる事を、ご承諾がいただけない患者様がおられましたら、下記までご連絡の程、よろしくご願いたします。また何か御質問がある場合もご連絡くださいませ。  
何卒よろしくご願いたします。

問い合わせ先

研究責任医師 京都市立病院 腎臓内科 家原典之

研究分担医師 京都市立病院 腎臓内科 矢内佑子

郵便番号 604-8845 京都市中京区壬生東高田町1の2

電話 075-311-5311 FAX 075-321-6025

